

科目名	看護学概論	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 看護の本質および看護の概念を理解する。 2. 看護の対象としての人間を身体的・精神的・社会的統一体として理解する。 3. 人間にとっての健康の意義について理解する。 4. 保健医療福祉チームにおける看護の役割と看護活動のあり方を理解する。 5. 看護の歴史を通して、現在の看護の位置づけ及び諸問題を理解する。			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 看護とは 1) 看護の本質 2) 看護の役割と機能 3) 看護理論家の看護概念 2. 看護の対象の理解 1) 人間のこころとからだ 2) 生涯発達し続ける存在としての人間 3. 国民の健康状態と生活 1) 健康とは 2) 国民の健康状態 3) 国民のライフサイクル 4. 看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護職の資格・養成制度・就業状況 3) 継続教育とキャリア開発 4) 看護職の養成制度の課題 5. 看護における倫理 1) 職業倫理と看護倫理 2) 患者の意思決定支援と守秘義務 3) 倫理的ジレンマ 6. 看護提供のしくみ 1) サービスとしての看護 2) 看護提供の場とチーム医療 3) 継続看護 4) 看護をめぐる制度と施策 5) 看護サービスの管理 6) 医療安全と医療の質保証 7. 広がる看護の活動領域 1) 国際化と看護 2) 災害時における看護			
15	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	看護学概論 医学書院 別巻 看護史			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	看護倫理	3年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 看護者としての職業倫理を理解する。 2. より良い看護の実現に向けた倫理的問題の分析および倫理的意思決定の方法を理解する。			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. 看護倫理と職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の権利擁護</li> <li>2) 患者のプライバシー保護</li> <li>3) 看護師の倫理規定 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護師の責務</li> <li>(2) 看護実践に関わる倫理の原則</li> </ol> </li> <li>4) 職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護を取り巻く倫理的課題とその背景や歴史の理解</li> </ol> </li> <li>5) 道徳的ジレンマと倫理的課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>①日常のケア場面における倫理的課題</li> <li>②先端技術医療における倫理的課題</li> </ol> </li> </ol> 2. 看護師としての自覚と責任のある行動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生命・尊厳権利の尊重と擁護</li> <li>2) 守秘義務の厳守と個人情報の保護</li> <li>3) 事故の責任と能力の的確な把握</li> <li>4) 看護師としての健康と品行を維持</li> <li>5) 環境問題における社会と責任の共有</li> <li>6) ニーズの把握</li> <li>7) 受容的・共感的態度</li> <li>8) 説明と同意</li> <li>9) 信頼関係を築く行動</li> </ol> 3. 意志決定のプロセス			
8	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	別巻 看護倫理 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	共通基本技術	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 看護活動における基本的看護技術を理解する。			
回数	教 育 内 容			
1～3	1. 人間関係発展の技術 1) コミュニケーションの意義・目的 2) 良好なコミュニケーションに必要な技術 3) コミュニケーション障害への対応			
4～5	2. 看護における観察・記録・報告 1) 看護記録とは 2) 記載・管理における留意点 3) 看護記録の構成			
6～7	3. 学習支援 1) 看護における学習支援とは 2) 様々な場で行われる学習支援 3) 健康状態の変化に伴う学習支援 4) 個人・家族・集団を対象とした学習支援			
8～10	4. 安全確保 1) 安全管理対策      2) 誤薬防止      3) チューブ類の予定外抜去防止 4) 患者誤認防止      5) 転倒・転落防止      6) 薬剤・放射線曝露の防止			
11～14	5. 感染予防 1) 意義                      2) 標準予防策 3) 無菌操作                4) 感染性廃棄物の取り扱い 5) 針刺し防止 6. 演習 標準予防策、ガウンテクニック、無菌操作（2時間）			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅰ 医学書院 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 ②臨床看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	日常生活の援助技術 I (環境)	1 年次	1 単位 30 時間	講師
科目目標	1. 環境調整の意義を理解し、快適な療養環境を整えるための技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～9	1. 療養生活の環境 1) 人間の健康と環境 2) 生活環境の調整 (温度、湿度、照度、騒音、換気、採光、臭気、色彩、プライバシー) 2. 病室環境 1) 病室の構成 2) 病院で働く人々 3) 療養環境のアセスメント 3. 療養環境の整備 1) ベッド周囲の環境整備 2) ベッドメイキング 3) 臥床患者のリネン交換			
10～14	4. 演習 1) ベッドメイキング (4 時間) 2) 臥床患者のリネン交換 (4 時間)			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	日常生活の援助技術Ⅱ (食事・排泄)	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 栄養状態を整える意義を理解し、対象の状態に適した食事援助の技術を習得する 2. 排泄を整える意義を理解し、対象の状態に適した排泄の援助技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～4	1. 人間の健康と食事 1) 食事の意義 2) 健康な食生活 3) 栄養状態のアセスメント 4) 摂食能力および食欲、食に関する認識のアセスメント 2. 医療施設で提供される食事 1) 食事の種類と形態 2) 食事の提供方法 3. 食事の援助 1) 経口的栄養摂取の援助 2) 非経口的栄養摂取の援助 4. 演習 1) 食事の介助 (2時間)			
5～14	5. 人間の健康と排泄 1) 排泄の意義 2) 排泄行動のアセスメント 6. 対象の状態に応じた排泄の援助 1) 自然な排泄を促す援助                      2) 対象の状態に応じた援助 3) 排泄を促す医療処置を伴う援助        4) 排泄物の観察 7. 演習 1) 尿器・便器を使用した援助 (2時間) 2) 浣腸 (2時間)			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 ②臨床看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	日常生活の援助技術Ⅲ (姿勢と体位、睡眠・休息)	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. さまざまな移動方法を理解し、対象の状態・状況に応じた安全・安楽な移動技術を習得する 2. 休息の種類と意義を理解し、適切な睡眠・休息を促すための援助技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～12	1. 姿勢・活動 1) 活動とは 2) よい姿勢とボディメカニクス 3) 活動・運動の能力のアセスメント 4) 体位・体位変換、安楽な体位の調整 (ポジショニング) 5) 歩行介助 6) 車椅子、輸送車への移乗動作介助・移送 7) 運動機能維持・拡大に向けた援助 (自動・他動運動の援助、ROM) 2. 演習 1) 安楽な体位の調整、体位変換 (2時間) 2) 車椅子移乗・移送 (2時間) 3) ストレッチャー移乗・移送、歩行の援助 (歩行器・杖) (2時間)			
13～14	3. 睡眠・休息の援助 1) 休息の種類と意義 2) 睡眠・休息状態のアセスメント 3) 安楽な休息・睡眠を促す援助方法 4) 睡眠障害とその援助方法 5) 安静の弊害 4. 安楽確保の技術 1) リラクゼーション 2) 翳法			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	日常生活の援助技術Ⅳ (清潔・衣生活)	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 療養生活における衣服の機能を理解し、対象に適した衣服を整える援助技術を習得する 2. 身体の清潔を保つ意義を理解し、対象の状態に適した清潔保持の技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 療養生活における衣服の機能 1) 衣服を身につける意義 2) 病衣の種類と選び方 2. 対象の状態に適した寝衣交換 3. 人間の健康と清潔 1) 清潔の意義 2) 身体各部の清潔の援助方法 4. 演習 1) 寝衣交換 (2時間) 2) 全身清拭、部分清拭 (4時間) 3) 洗髪 (2時間) 4) 足浴、陰部洗浄、口腔ケア (2時間) 5. 技術チェック 1) 全身清拭 (2時間)			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの「看護覚え書」 西東社			
留意点				

科目名	ヘルスアセスメント	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象の健康状態について、身体的側面および心理・社会的側面から情報収集し、総合的にアセスメントするための基本的知識と技術を習得する</li> <li>2. 身体的側面については、フィジカルイグザミネーション（身体診査）の基本技法を系統的に習得する</li> <li>3. 心理・社会的側面については、必要な理論やツールを用いてアセスメントの視点について理解する</li> </ol>			
回数	教 育 内 容			
1～9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護におけるヘルスアセスメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヘルスアセスメントの考え方</li> <li>2) アセスメントプロセス</li> </ol> </li> <li>2. 問診・インタビュー、ヘルスヒストリー（健康歴）</li> <li>3. フィジカルアセスメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) フィジカルアセスメントの基本技術</li> <li>2) 身体各部の測定 （モニタリング・フィジカルイグザミネーション）</li> </ol> </li> <li>4. 系統別アセスメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸器系</li> <li>2) 心臓・循環器系</li> <li>3) 腹部・消化器系</li> <li>4) 筋・骨格系</li> <li>5) 神経系</li> <li>6) 頭部、頸部、視聴覚系</li> </ol> </li> <li>5. 心理・社会的側面からのアセスメント</li> </ol>			
10～14	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 演習 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) バイタルサインの測定（4時間）</li> <li>2) 系統的フィジカルアセスメントの実際（4時間）</li> </ol> </li> <li>7. 技術チェック <ol style="list-style-type: none"> <li>1) バイタルサインの測定（2時間）</li> </ol> </li> </ol>			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術 I 医学書院 看護がみえる ③フィジカルアセスメント メディックメディア			
参考書				
留意点				



科目名	看護の展開方法	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 対象の持つ健康上の問題を明らかにして、その問題を解決するための系統的で意図的な思考過程としての看護の展開方法を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 看護過程の基盤となる考え方 1) クリティカルシンキング 2) リフレクション(内省・省察・熟考) 3) 臨床判断モデル  2. 看護モデルとアセスメント分析  3. 看護過程 1) アセスメント (情報収集と分析) 2) 看護問題の明確化 3) 看護目標と看護計画 4) 実施・評価			
15	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	基礎看護技術 I 医学書院 看護診断ハンドブック 医学書院 看護がみえる ④看護過程の展開 メディックメディア			
参考書	看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 学研			
留意点				

科目名	診療に伴う技術Ⅰ	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 診察と検査の意義、目的を理解し、診察・検査・処置をうける対象への看護技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～11	1. 診療の補助技術と看護師の役割 1) 診察のプロセス 2) 診察時に必要な援助技術 2. 診察時の看護 1) 環境の調整 2) 患者への説明と準備 3. 検査時の看護 1) 検体検査 (尿・血液・痰検査) 2) 静脈血採血の実際と看護の役割 (1) 静脈血採血の目的・種類 (2) 静脈血採血の採血部位・合併症 (3) 注射器・注射針の基礎知識、取り扱い (4) 静脈血採血の方法・留意点 2) 生体検査 (心電図) 4. 穿刺・洗浄時の看護 1) 穿刺時の看護 2) 洗浄時の看護 5. 救急法と看護 1) 救命救急技術 6. 創傷管理 1) 創傷の治癒過程と影響因子 2) 創の種類 3) ドレッシング材の種類と特徴 4) 包帯法 7. 酸素療法時の看護 8. 吸引時の看護			
12～13	9. ME 機器の原理と看護の役割 1) 輸液ポンプ・シリンジポンプ 2) 心電図 3) パルスオキシメーター 4) 人工呼吸器 など			
14	10. 演習 1) 静脈血採血 (2時間) 注射器を用いての静脈血採血			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 ②臨床看護技術 メディックメディア			
参考書				
留意点				

科目名	診療に伴う技術Ⅱ	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 薬物を取り扱う際のチームにおける看護師の責任と役割を理解する 2. 薬物療法の意義・目的を理解し、薬物療法を受ける対象への看護技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 薬物療法時の看護師の役割 1) 正しい与薬 2) 薬の管理 (毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬を含む) 2. 与薬の技術 1) 経口与薬・口腔内与薬 2) 吸入 3) 点眼 4) 点鼻 5) 経皮的与薬 6) 直腸内与薬 7) 注射 8) 輸血管理			
	3. 演習 1) 筋肉内注射 (4時間) 2) 点滴静脈内注射 (2時間)			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護が見える ①基礎看護技術 ②臨床看護技術 メディックメディア			
参考書				
留意点				

科目名	看護研究	2年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 看護研究の意義と必要性を学び、研究方法の基礎を理解する。			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. 研究の意義・必要性 1) 研究の意義・必要性・重要性 2) 研究の条件 3) 看護理論と看護研究 4) 看護研究における倫理的配慮 2. 研究の種類と研究の方法 1) 研究の種類と方法 2) 研究過程 3) 研究計画書の必要性和書き方 4) 研究論文の種類と構成 5) 抄録の作成と発表方法 3. 文献の活用 1) 文献の意義、文献の検索法 2) 文献の読み方、整理の仕方 3) 文献検討			
8	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	別巻 看護研究 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	看護研究演習	3年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 研究クリティークの方法を理解し、適切な文献の活用ができる 2. 自己の看護実践の意味づけができる			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. 研究成果の活用 1) 研究クリティークと研究成果の活用 2. 看護実践の意味づけ			
8	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	別巻 看護研究 医学書院			
参考書				
留意点				